

北九州エアターミナル株式会社

北九州エアターミナル株式会社

I 法人の概要（令和6年7月1日現在）

1 所在地

北九州市小倉南区空港北町6番

2 設立年月日

平成元年5月1日

3 代表者

代表取締役社長 鮎川 典明

4 資本金

3,965,884千円

5 北九州市の出資金

1,215,992千円（出資の割合30.66%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	13人	0人	1人	12人
常 勤	4人	0人	1人	3人
非常勤	9人	0人	0人	9人
社 員	22人	1人	3人	18人

7 市からのミッション

市等との連携による路線誘致等、利用者数の増加に向けた取組を進め、安定的な財務状況を維持し、公共性の高い空港ターミナルビルを安全かつ快適な空間として、航空会社や航空旅客に提供する。

旅客については、路線の拡大等、航空会社の動向に合わせ、的確な施設の増強や改造を行い、市等との連携による路線誘致に繋げる。

また、増加する貨物需要に対応した貨物関連施設の整備、機能的な施設運営など物流拠点空港を目指した機能強化に取り組む。

さらには、空港ターミナルビル内を活用し、イベントや展示を行い、地域のにぎわいの場としての役割も果たしていく。

II 令和5年度事業実績

1 航空旅客

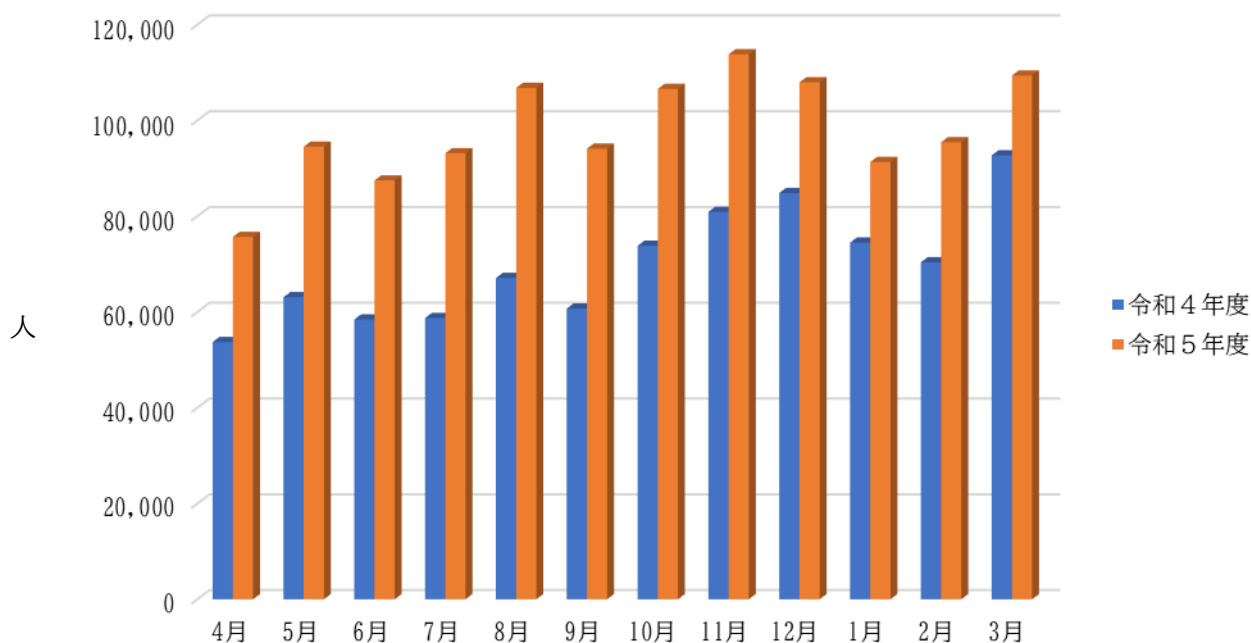
当期の日本経済は、企業収益の改善や個人消費の拡大が見られ、緩やかな回復基調で推移した。航空業界においては、新型コロナウイルス感染症の5類移行や円安を背景に、インバウンドや国内旅客需要を中心に回復が続いている。

北九州空港では、念願であった滑走路3,000メートルへの延伸工事が昨年12月2日に着手された。

このような状況のもと、北九州空港においては、国内線では、東京（羽田）線の年間旅客数は約1,059千人（前期比127.1%）となった。定期路線にチャーター便を加えた年間国内線旅客数は約1,062千人（前期比126.9%）で、前期旅客数約837千人から225千人の増となった。コロナ禍前の平成30年度に比べると74.0%の水準であった。

国際線は、令和5年5月8日から、3年ぶりにジンエアーによる韓国（仁川）線が定期便として再開し、旅客数が約94千人となった。また天津航空による中国（大連）線が令和6年1月8日に定期便として再開したが、能登半島地震等の影響により、2月2日から運休となった。定期路線にチャーター便を加えた年間国際線旅客数は、約114千人となった。

【国内・国際線旅客数（合計）の推移】

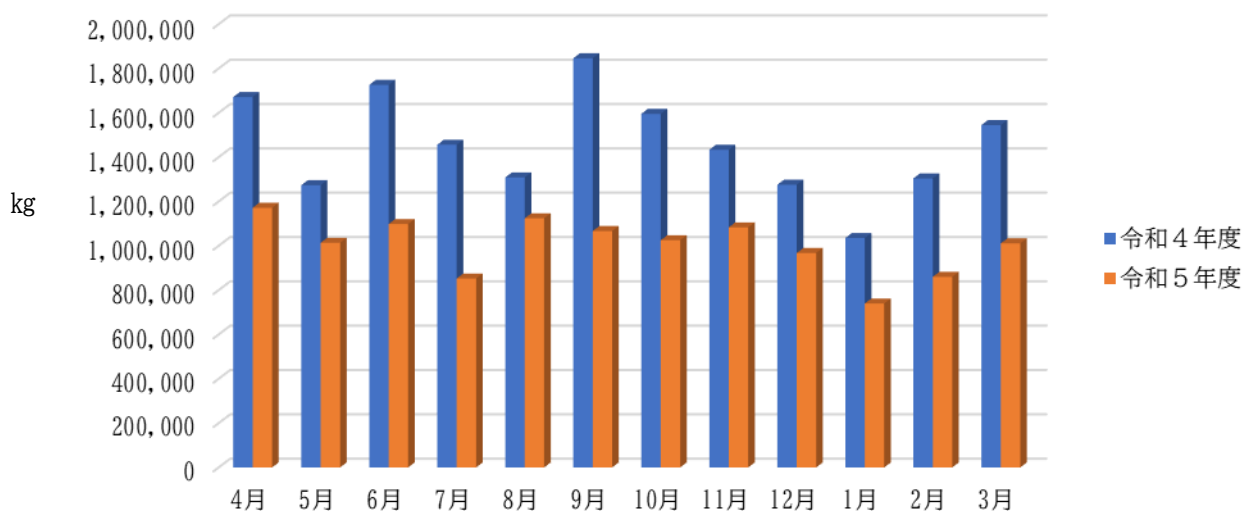


2 航空貨物

国内航空貨物は、年間取扱量は約2千2百トン（前期比95.7%）となった。

国際航空貨物は、世界的な海上輸送の混乱等により発生していた航空による代替輸送需要（航空シフト）が、その緩和に伴う貨物の海運回帰の進展を受け、前期比64.5%の約9千8百トンとなった。

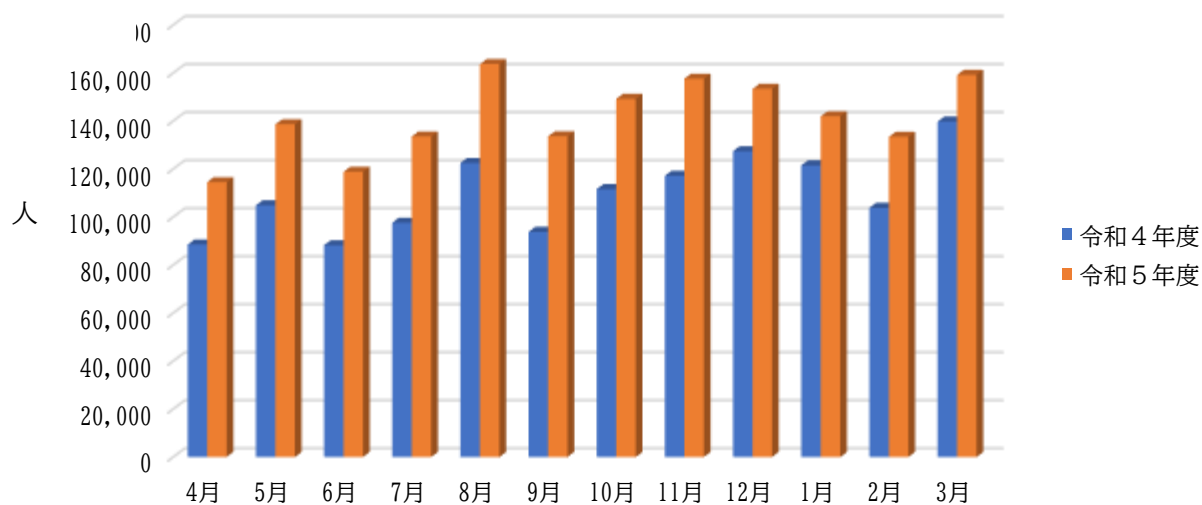
【国内・国際線貨物取扱量（合計）の推移】



3 旅客ターミナルビル来館者

年間のターミナルビル来館者は約1,698千人（前期比129.0%）となった。

【旅客ターミナルビル来館者数の推移】



【イベント実施状況】

開催時期	主 な イ ベ ン ト 名
5月	グリーンパーク 春のバラフェア展示
6月	苅田町写真展 幼稚園児による七夕飾り
7月	ナイトトリップ(7/29(土)) 世界水泳 PR 展示
8月	ナイトトリップ(8/20(日)) 京築神楽PR展示 ふるさと納税 PR ブース
10月	北九州空港まつり 北九州空港菊花展 行橋市遺産絵画展
11月	北九州風景街道フォト&スケッチコンテスト入賞作品展示 池坊華空会 初冬の花展
12月	花の展示
1月	到津の森展示
2月	地球の歩き方 PR 展示
3月	18周年感謝祭 花の展示

4 施設整備等

ヤマトグループ、JAL グループの国内貨物定期便の新規就航に合わせ、国内貨物上屋を新設した。また、通関体制の拡充のため、税関の貨物検査室を新設した。

5 経営状況

経営については、当期売上高は約1,089百万円で、国際旅客定期便の再開、UPSの国際貨物定期便の通年化、コロナ禍からの回復に伴う空港利用者の回復等により、前期と比較し、約203百万円の増収となった。当期の販売費及び一般管理費は、光熱水費や修繕費の増加等により、約928百万円で、前期と比較し、約39百万円の増加となった。

また、営業外収益は約25百万円、営業外費用は約2百万円であり、以上の結果、税引前当期純利益は約172百万円で、当期純利益は約153百万円となった。

Ⅲ 令和5年度決算

1 貸借対照表

令和6年3月31日現在（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	1,024,961,656	【流動負債】	272,070,408
現金・預金	932,968,664	買掛金	742,435
未収入金	80,992,587	前受金	44,007,842
商品	536,597	賞与引当金	4,029,000
貯蔵品	2,235,455	未払金	125,577,678
前払費用	8,228,353	未払法人税等	40,785,300
		預り金	757,986
【固定資産】	4,501,903,624	未払費用	2,815,000
(有形固定資産)	4,217,579,213	前受収益	1,111,632
建物	3,833,989,530	リース債務	15,653,955
構築物	157,875,421	預り保証金	3,989,580
工具器具備品	51,056,502	預り建設協力金	32,600,000
機械装置	24,860,041	【固定負債】	710,650,089
車両運搬具	7,811,130	退職給付引当金	22,261,600
リース資産	136,596,589	長期リース債務	148,128,008
建設仮勘定	5,390,000	資産除去債務	210,691,242
		預り敷金	21,815,400
(無形固定資産)	317,961	預り保証金	4,441,780
電話加入権	124,984	長期預り建設協力金	293,400,000
水道施設利用権	192,977	長期前受収益	9,912,059
		負債合計	982,720,497
(投資その他の資産)	284,006,450	純 資 産 の 部	
投資有価証券	248,406,700	【株主資本】	4,606,107,783
出資金	300,000	資本金	3,965,884,000
繰延税金資産	24,433,000	利益剰余金	640,223,783
預かり建設協力金受入差金	10,866,750	その他利益剰余金	640,223,783
		繰越利益剰余金	640,223,783
		【評価・換算差額等】	▲61,963,000
		その他有価証券評価差額金	▲61,963,000
		純資産合計	4,544,144,783
資産合計	5,526,865,280	負債・純資産合計	5,526,865,280

2 損益計算書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日 (単位：円)

科 目	金 額	
I 売上高		1,089,250,911
売上高	37,800,199	
家賃収入	320,996,694	
管理費収入	188,465,614	
設備使用料収入	281,414,939	
広告料収入	40,482,337	
駐車場収入	220,091,128	
II 売上原価		8,128,820
売上総利益金額		1,081,122,091
III 販売費及び一般管理費		928,571,887
営業損失金額		152,550,204
IV 営業外収益		25,342,536
受取利息	9,806	
受取配当金	295,000	
雑収入	25,037,730	
V 営業外費用		2,188,214
支払利息	2,187,209	
雑損失	1,005	
経常利益金額		175,704,526
VI 特別利益		14,580,000
補助金	14,580,000	
VII 特別損失		18,233,917
固定資産除却損	3,653,917	
建物圧縮損	7,080,000	
工具器具備品圧縮損	7,500,000	
税引前当期純利益金額		172,050,609
法人税、住民税及び事業税	30,452,346	18,580,226
法人税等調整額	▲11,872,120	
当期純利益金額		153,470,383

IV 令和6年度事業計画

<基本的な考え>

1 航空旅客

国内線はコロナ禍に定着したりリモート会議等のオンライン化が進んだ影響等で、ビジネス利用はコロナ前までの回復は見込めないと考えられる。そのパイを補うため、航空会社、行政及び団体と連携をとり、旅行者への集客対策を実施する。

国際線は、唯一の国際定期便である韓国（仁川）線が安定的な長期運航に繋がるよう、行政及び団体と一体となり、PR やキャンペーン等の集客対策を実施するとともに、引続き案内人の配置を行う等、旅客サービス面でも支援を行う。

また、現在運休となっている那覇線、台湾線、大連線などの復便に向け、行政及び団体とともに航空会社に要望活動を行う。

福岡空港の運用時間終了後に当空港にダイバート（代替着陸）してくる航空会社の受け入れについて、引続き、施設面で協力を行う。

2 航空貨物

ヤマトグループ、JAL グループの貨物便の運航に支障をきたさないよう、国内第2貨物上屋のアフターサポートを行うとともに、現在建設中の貨物テント上屋の建設を確実に実施する。

国際航空貨物便の運航を支援するため、大型地上支援機材等の適切な管理運営を行う。

3 駐車場事業

引続き、空港ビルと駐車場の一体運営により、利用者の利便性向上及び経営の効率化を図り、利用者増と会社の収支向上に繋げる。

繁忙期には、警備員を配置するとともに、満車対策として臨時駐車場を開放し、利用者の安全・安心と利便性向上を図る。

4 入居事業者（テナント）対応

3階レストラン退店後の空きスペースについて、引続き誘致に取り組むとともに、後継テナントの運営形態や運営手法等を幅広く検討する。

既存テナント支援のため各種イベント・キャンペーン等を検討、実施する。

5 ターミナルビル来館者

北九州空港に親しんでいただくとともに、旅客増につながるよう各種イベントを実施する。

6 北九州空港観光案内所（新規受託事業）

国内外のお客様をおもてなしの心でお迎えし、お客様の要望に沿ったきめ細かな観光案内や施設・アクセス案内を行い、利用者の満足度向上に繋げる。そのため、案内所スタッフに研修を実施し、スキルアップを図る。

周辺市町村の観光案内所や観光部署と連携し、市内及び周辺市町村を国内外のお客様が循環するような取組みを進めていく。

7 企業リスク対策

開港から 18 年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいるため、大きな事故や運航に支障をきたす故障に繋がらないよう、施設の修繕、改修等、適切な管理運営に努める。

V 令和6年度予算

収支予算書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日 (単位：千円)

収 入	営業収入	売上高	40,000
		家賃収入	362,000
		管理費収入	219,000
		設備使用料収入	295,000
		広告料収入	40,000
		駐車場収入	230,000
		業務受託収入	10,000
	小 計	1,196,000	
	営業外収入	雑収入等	24,000
		小 計	24,000
合 計		1,220,000	
支 出	営業費用	売上原価	9,000
		人件費	150,000
		一般管理費	53,000
		減価償却費	277,000
		修繕費	107,000
		水道光熱費	112,000
		租税公課	64,000
		地代	105,000
		管理委託費	223,000
	小 計	1,100,000	
営業外費用	支払利息等	2,000	
小 計		2,000	
合 計		1,102,000	
収 入 - 支 出		118,000	

VI 役員名簿等

1 役員名簿

令和6年7月1日現在

役職名	氏名	現職
代表取締役社長	鮎川 典明	
代表取締役専務	小島 良俊	
常務取締役	垣田 健一	
取締役	東 俊明	日産自動車九州株式会社 取締役常務執行役員
取締役	安田 堅太郎	西日本鉄道株式会社 執行役員 西鉄バス北九州株式会社 代表取締役社長
取締役	鶴岡 直樹	株式会社ゼンリン 社長室 参与 九州担当
取締役	平尾 智賀志	ANAホールディングス株式会社 グループ経営戦略室 事業推進部 マネジャー
取締役	宮崎 幸雄	九州電力株式会社 執行役員 北九州支店長
取締役	安成 健一郎	苅田町 副町長
取締役	田中 江美	TOTO 株式会社 総務本部 副本部長 兼 リスク管理統括室長
常勤監査役	藤山 泰三	
監査役	井倉 眞	福岡ひびき信用金庫 理事長
監査役	川中 昌哉	行橋市 総務部長

2 市との特命随意契約の状況（令和5年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
情報発信・取材協力事業	330	当該場所を使用する権利を有する北九州エアターミナル(株)以外では当該業務を履行できないため。	再委託なし				
北九州空港滑走路延長事業PR業務	1,191	地方自治法施行令第167条の2第1項第2号	再委託なし				
合 計	1,521		合 計				